

第 38 回社会言語科学会研究大会 プログラム

◎ 1 日目 2016 年 9 月 3 日 (土)

9:30	受付開始	[8号館 1F コピー]
10:00	開会	
10:00-12:15	研究発表 (口頭発表)	
	セッション 1	[8号館 4F 843 教室]
	セッション 2	[8号館 4F 844 教室]
	セッション 3	[8号館 5F 852 教室]
	セッション 4	[8号館 5F 854 教室]
12:15-13:10	JASS カフェ	[8号館 5F 854 教室]
12:15-13:15	昼休み (理事会)	
13:15-13:20	開催校ご挨拶	[7号館 4F 741 教室]
	下村 秀則 (京都外国語大学副学長)	
13:20-14:50	招待講演	[7号館 4F 741 教室]
	・ 講演題目: コミュニティ・リテラシー・デモクラシーをささえる言語の役割とは何か	
	・ 講演者: 春原 憲一郎 (京都日本語教育センター京都日本語学校校長)	
	・ 司会: 渋谷 勝己 (大阪大学)	
14:50-14:55	休憩	
14:55-15:40	会長挨拶, 総会, 大会発表賞授賞式	[7号館 4F 741 教室]
15:40-15:55	休憩	
15:55-18:25	ワークショップ 1	[8号館 4F 843 教室]
	ワークショップ 2	[8号館 4F 844 教室]
	ワークショップ 3	[8号館 5F 852 教室]
18:40-	懇親会	[12号館 1F 食堂リブレ]

◎ 2 日目 2016 年 9 月 4 日 (日)

9:30	受付開始	[8号館 1F コピー]
10:00-11:05	研究発表 (口頭発表)	
	セッション 5	[8号館 4F 843 教室]
	セッション 6	[8号館 4F 844 教室]
	セッション 7	[8号館 5F 852 教室]
	セッション 8	[8号館 5F 854 教室]
11:10-11:40	招待発表	
	招待発表 1	[8号館 4F 843 教室]
	招待発表 2	[8号館 4F 844 教室]
	招待発表 3	[8号館 5F 852 教室]
11:40-12:40	昼休み (各委員会)	
12:40-13:55	研究発表 (ポスター発表)	[8号館 7F 871 教室, 872 教室]
13:55-14:10	休憩	
14:10-16:40	ワークショップ 4	[8号館 4F 843 教室]
	ワークショップ 5	[8号館 4F 844 教室]
	ワークショップ 6	[8号館 5F 852 教室]

口頭発表

1 日目 2016 年 9 月 3 日 (土)

セッション 1 [8 号館 4F 843 教室] 司会: 安井 永子 (名古屋大学)

- | | |
|-------------|--|
| 10:00-10:30 | A typological study of preferred order on binomials: A case study of "MALE-FEMALE" order
OH YOUNGMIN (関西大学), KJ NABESHIMA (関西大学) |
| 10:35-11:05 | Learning from a Conversation Analytic Perspective
バターフィールド ジェフリー (神奈川大学) |
| 11:10-11:40 | 大学院研究指導場面における「助言」会話の分析—相手に配慮した「助言」の観察—
高橋 千代枝 (京都外国語大学) |
| 11:45-12:15 | 相互行為装置としての「じゃない(か) (?)」—2つの出現位置に着目して—
梅村 弥生 (千葉大学) |

セッション 2 [8 号館 4F 844 教室] 司会: 平田 未季 (秋田大学)

- | | |
|-------------|--|
| 10:00-10:30 | 具体から抽象への意味の拡張— I want~, と I want to be~, の二構文に着目して—
小林 邦子 (姫路大学) |
| 10:35-11:05 | 無生物主語使役文の認知的研究
李 静 (九州大学) |
| 11:10-11:40 | 新聞社説におけるテキスト構造の日中対照研究—結束性を中心に—
単 艾婷 (九州大学) |
| 11:45-12:15 | 補助動詞の多用と「横志向」—接客場面に注目して—
山本 裕子 (中部大学) |

セッション 3 [8 号館 5F 852 教室] 司会: 嶋 ちはる (国際教養大学)

- | | |
|-------------|--|
| 10:00-10:30 | 依頼しにくい場面における依頼会話の談話構造—ベトナム語と日本語の依頼会話を分析して—
NGUYEN THI NHU Y (大阪大学) |
| 10:35-11:05 | 日本語とアメリカ英語の依頼場面における依頼のコンテキストの依頼表現とポライトネスレベルへの影響
藏屋 伸子 (日本大学) |
| 11:10-11:40 | 話し手は自らの解釈、感覚をどう伝えているか—会話における「なんか」の使用に着目して—
杉崎 美生 (日本女子大学) |
| 11:45-12:15 | 「評判」というアイデンティティ—あるナラティブ・セラピーにおける人種に関わる評判とアイデンティティの交渉—
饒平名 尚子 (フェリス女学院大学) |

セッション 4 [8 号館 5F 854 教室] 司会: 中東 靖恵 (岡山大学)

- | | |
|-------------|---|
| 10:00-10:30 | 中国の北京・天津方言話者のコミュニケーション行動に関する一観察
羅 希 (神戸大学) |
| 10:35-11:05 | 小学校「外国語活動」における英語の定着について—非常に限定された言語文化的環境において第二言語定着がどこまで可能か— |

	堀尾 邦子 (九州大学)
11:10-11:40	ろう児の読み書き実践の特徴—高等学校に在籍するろう児の例から見る「合理的配慮」へのヒント— 中島 武史 (大阪府立中央聴覚支援学校)
11:45-12:15	台湾学校教育機関で郷土言語教育を受けた経験のある者の母語に関する言語意識調査 呉 素汝 (大阪大学)

2 日目 2016 年 9 月 4 日 (日)

セッション 5 [8 号館 4F 843 教室] 司会: 建石 始 (神戸女学院大学)

10:00-10:30	トラブルへの解決策提案と提案者—「道順説明」を受ける人が果たす役割— 鹿嶋 恵 (熊本大学)
10:35-11:05	日本語母語話者との接触場面におけるペルシア語母語話者の儀礼的な言語行動の管理 AKBARI HOURIEH (千葉大学)
11:10-11:40	【招待発表】 社会人日本語非母語話者による職場での日本語ライティングに関する内省—日本留学経験者のビジネスパーソン・研究員への調査から— 村岡 貴子 (大阪大学)

セッション 6 [8 号館 4F 844 教室] 司会: 山本 真理 (早稲田大学)

10:00-10:30	ピア・レスポンスにおける第三者の参加について 吉 陽 (筑波大学)
10:35-11:05	非定型的間接表現はなぜ〈依頼〉として成立できるのか—会話参加者の視点から見る依頼の談話展開の分析— 李 欣穎 (筑波大学)
11:10-11:40	【招待発表】 養育者-子ども間相互行為における三者関係の枠組みを用いた行為指示連鎖 高田 明 (京都大学)

セッション 7 [8 号館 5F 852 教室] 司会: 大場 美和子 (昭和女子大学)

10:00-10:30	アングロフォンコミュニティにおける「義務を表わす英語表現」のバリエーションと変化 平野 圭子 (北九州市立大学)
10:35-11:05	「曖昧性の所在」と「意図性の有無」による相互作用的ユーモアの区分—テレビドラマの英語談話分析を通じて— 大竹 彩加 (東京大学)
11:10-11:40	【招待発表】 国会審議映像検索システムの社会言語学的応用について 松田 謙次郎 (神戸松蔭女子学院大学)

セッション 8 [8 号館 5F 854 教室] 司会: 小川 俊輔 (県立広島大学)

10:00-10:30	丁寧表現の使用／不使用に影響する要因の分析 辛 昭静 (東京大学), 石崎 雅人 (東京大学)
10:35-11:05	だれがいつどこで何のために通訳を使うのか—日英ビジネス通訳の事例から— 木村 護郎クリストフ (上智大学), 高橋 絹子 (上智大学)

ポスター発表

2 日目 2016 年 9 月 4 日 (日) 12:40-13:55

〔8 号館 7F 871 教室〕 司会：杉浦 秀行 (摂南大学)

- P-01 恋愛小説において物語を特徴づける表現—タイトルと帯に見られる表現分析の試み—
加藤 祥 (人間文化研究機構), 浅原 正幸 (人間文化研究機構)
- P-02 中国人日本語学習者の「ケド言いさし文」の運用に関する調査—ポライトネスの視点から—
燕 興 (千葉大学), 伝 康晴 (千葉大学)
- P-03 依頼表現における呼びかけ語の分析
東出 朋 (九州大学)
- P-04 多言語活動実践「世界へのまど」—小学生への多言語・多文化への気づきを促す試み—
豊田 美穂 (慶應義塾大学), 林 友希 (慶應義塾大学), 木原 香菜恵 (慶應義塾大学)
- P-05 アメリカ英語を起源とする英語イディオムの生い立ち・そのニュアンスと使い方
小山内 大 (東京電機大学)
- P-06 指示語とジェスチャーが指し示すモノ—指示語とそれに同期する・しないジェスチャーの関係—
川上 ゆか (広島修道大学)
- P-07 言われのない非難場面における謝罪の意識と言語行動—ビジネス場面における日本人社会人・日本人学生の比較から—
末田 美香子 (横浜商科大学)
- P-08 英語と米語の会話パターンの対照分析—アメリカ人の埋め草表現の多用—
塚本 亜美 (新居浜工業高等専門学校)

〔8 号館 7F 872 教室〕

- P-09 パブリック・スピーチにおけるエピソードの構築方法の日英語比較研究—文化によって異なる「好まれる話し方」—
櫻田 怜佳 (日本女子大学)
- P-10 英語小説に見られる自由間接話法のコンテキストに関する一試論
溝上 瑛梨 (京都大学)
- P-11 駅員、車椅子利用者、介助者による相互行為における会話進行と参加の組織化
柳町 智治 (北星学園大学), 稲垣 里嶺 (北星学園大学), 田実 潔 (北星学園大学)
- P-12 テレビドラマからみた感謝場面における日タイ語の言語行動—表現の種類を中心に—
KAWEEJARUMONGKOL SALILRAT (東北大学), 上原 聡 (東北大学)
- P-13 相互行為における身体同期・協調のメカニズム—じゃんけん課題における検討—
児玉 謙太郎 (神奈川大学), 牧野 遼作 (国立情報学研究所),
末崎 裕康 (総合研究大学院大学), 阿部 廣二 (早稲田大学)
※ 筆頭発表者欠席のため, 牧野遼作 (国立情報学研究所) が筆頭発表者を代行
- P-14 漫画から見た日本語とタイ語の自称詞の対照研究—役割語における一人称代名詞を中心に—
SIRIACHA ROYKAEW (東北大学), 上原 聡 (東北大学)
- P-15 国会における首相発言の形式的特徴の分析
唐 麟源 (東京大学)

ワークショップ

1 日目 2016 年 9 月 3 日 (土) 15:55 – 18:25

ワークショップ 1〔8 号館 4F 843 教室〕

日本の外から見た日本—談話研究の視点—

企画責任者：佐藤 彰 (大阪大学)

参加者：岡田 悠佑 (大阪大学), 韓 娥凜 (大阪大学), Oyunaa Nomin (大阪大学),
秦 かおり (大阪大学), 岡本 能里子 (東京国際大学)

ワークショップ 2〔8 号館 4F 844 教室〕

理論研究再考—理論・モデルは社会言語科学にどう貢献するか?—

企画責任者：吉川 正人 (慶應義塾大学)

参加者：岡本 雅史 (立命館大学), 木本 幸憲 (名古屋大学・日本学術振興会),
佐治 伸郎 (鎌倉女子大学)

ワークショップ 3〔8 号館 5F 852 教室〕

インターアクションにおける不調和を再考する

企画責任者：山口 征孝 (神戸市外国語大学)

参加者：荻原 まき (立教大学), 野澤 俊介 (東京大学), 浅井 優一 (順天堂大学),
武黒 麻紀子 (早稲田大学)

2 日目 9 月 4 日 (日) 14:10 – 16:40

ワークショップ 4〔8 号館 4F 843 教室〕

国際移動する日本語使用者の言語実践とアイデンティティ

企画責任者：三宅 和子 (東洋大学)

参加者：川上 郁雄 (早稲田大学), 岩崎 典子 (ロンドン大学), 平高 史也 (慶應義塾大学)

ワークショップ 5〔8 号館 4F 844 教室〕

言語イデオロギー研究の射程と可能性—ミクロ・マクロをつなぐために—

企画責任者：木村 護郎クリストフ (上智大学)

参加者：宮崎 あゆみ (お茶の水女子大学), 吉田 理加 (順天堂大学),
山下 里香 (東京大学・日本学術振興会), 寺沢 拓敬 (関西学院大学),
杉森 典子 (カラマズー大学)

ワークショップ 6〔8 号館 5F 852 教室〕

英語教育・国語教育と論理的思考—日英語比較、および過去 30 年間の国立大学入試問題分析からみる、 新指導要領への提言—

企画責任者：花崎 美紀 (信州大学)

参加者：吉川 厚 (日本生涯学習総合研究所・東京工業大学),
小川 和 (日本生涯学習総合研究所), 大塚 崇史 (松本秀峰中等教育学校),
花崎 一夫 (信州大学), 北川 達夫 (日本教育大学院大学), 多々良 直弘 (桜美林大学),
八木橋 宏勇 (杏林大学), 菊池 聡 (信州大学)